

報道資料

平成 28 年 3 月 8 日

子育て支援企業の J P ホールディングス（証券コード 2749）

アクシデント・ゼロを目指して小冊子を毎月全園配布 カラー写真付きで原因・状況・対策を示す

子育て支援事業最大手の株式会社 J P ホールディングス（荻田和宏代表取締役・東証 1 部）グループは、保育の質の向上を目指して業務改善を進めています。グループのなかで、保育園運営、すなわち子育て支援の現場を担っているのが株式会社日本保育サービスです。

日本保育サービスは、日頃から「安全・安心を第一に——」を運営理念としています。その日本保育サービスが、いま取り組んでいるのが、保育園のアクシデントのゼロ化です。

日本保育サービスでは、安全対策会議「いのちを守る会」が主体になり、保育園でのアクシデント報告を小冊子にして、全保育園の現場に配布します。

小冊子は、事例ごとにカラー写真などを使ってアクシデントの原因・状況を説明し、その対策を示してあります。「多忙な保育士さんが眼で見てわかる」——簡潔なつくりで、わかりやすさに心がけたケーススタディの冊子にしています。「いのちを守る会」のネーミングは、些細なことが重篤な事故につながりかねないという危機意識からです。

1・2月は合併号になりますが、3月からは各月に発行します。「アクシデント報告」の小冊子発行は、初めての試みとなります。

*****日本保育サービスは、保育園における日々の通常業務の質を向上させることに努力しています。それと同時に目指しているのは、園児のアクシデントを限りなくゼロに近づけることです。

当社グループでは、1ヶ月に2回の「園長ミーティング」で、保育園で発生した園児のケガなどアクシデント情報を共有化してきています。「園長ミーティング」は全園長が集まり、管理部門の社員も参加し、業務についての様々な情報を持ち寄る会議となっています。この場で、アクシデントへの反省と対策を考えることを継続しています。

今回はこれに加えて、「アクシデント報告」を各月ごと小冊子にして保育園現場に配布、保育の質の向上に努めます。

報道各位からの問い合わせ先

(株) J P ホールディングス 東京支社

社長室 楚山・小倉

TEL 03-5332-7888

FAX 03-5332-7889